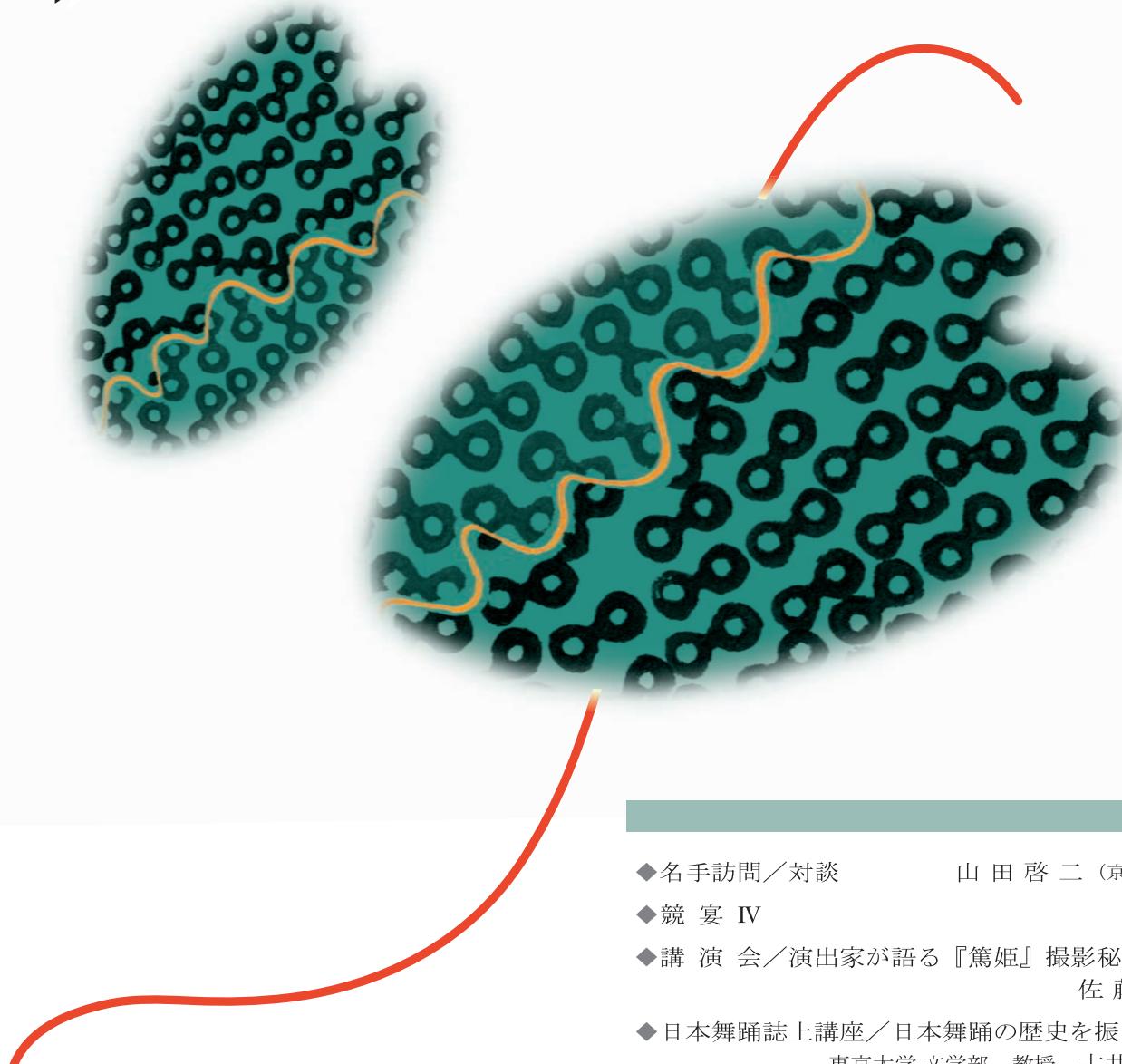


NBF

Information



- ◆名手訪問／対談 山田 啓二（京都府知事）
- ◆競宴 IV
- ◆講演会／演出家が語る『篤姫』撮影秘話 佐藤 峰世
- ◆日本舞踊誌上講座／日本舞踊の歴史を振り返る⑫ 東京大学文学部 教授 古井戸秀夫
- ◆理事会、評議員会報告・役員等名簿
- ◆平成20年度 正味財産増減計算書
- ◆特別会員芳名
- ◆NBF活動報告、行事予定

名手訪問

山田 啓二 (やまだ けいじ)

対談 山田 啓二 (京都府知事)

西川 扇藏 ((財)日本舞踊振興財団理事長)

[敬称略]



2009年5月8日
(於: 京都府庁舎)

山田 これはこれは西川先生には遠路はるばるお越しくださいまして恐縮でございます。

西川 とんでもない、今日は日本の文化が色濃く伝承されている京都のトップの方にお会いできるのを楽しみにしておりました。

山田 それは恐れ入ります。私も日本舞踊の人間国宝の先生がいらっしゃるというので、どうしたものかと考えあぐねておりまして、まず形からと思いまして和服でお迎えさせていただきました。

西川 さすがにお似合いでございますね。やはり日本独自のコスチュームである着物は素晴らしいものです。私は外国へ行くときも着物で飛行機に乗りります。日本人であることを誇りに思っておりますから。

山田 徹底していらっしゃいますね。しか

し海外では和服は珍しがられるでしょうね。

西川 ところが最近はそうでもありません。以前は好奇の目でじろじろ見られまして恥ずかしい思いもいたしましたが、このごろはかなり馴染んできたようです。

先年ドイツ公演のとき、ある町で亡くなった花柳壽樂氏と演奏家の堅田喜三久氏と3人で紋付袴羽織姿でホテルから市庁舎まで歩いて行つたことがあります。別にさほど注目を浴びるといった様子ではありませんでした。しかし帰りに市長が馬車を用意してくれて乗り込んだのですが、このときはさすがに観光客も含めてカメラ片手に取り囲まれました。(笑)

山田 日本の人間国宝が御三方お揃いでは、余り感情を露わにしないドイツ人も放ってはおかないのでしょうね。(笑)

私もなるべく公の席では着物を身に着けるようにしております。例えば2月の予算を審議する議会のときは着物議会と呼ばれています。私のみならず副知事や部長クラスも皆着てきます。

西川 それは素晴らしいことです。京都ならではのことでしょう。

山田 そうですね、しかし時間が長くなるとさがにくたびれます。(笑) それに着崩れてしまいましてね……自分で着ることができないのが悔しいですね。

西川 経験をお積みになればお慣れになることでしょう。それにもこちらはまさしく着物が文化として生きいきとして根付いていらっしゃいますね。

山田 年中行事として時代祭りや祇園祭り、葵祭り等がありますから府民に浸透しているのは確かです。

西川  私どもは東京を本拠にして活動をしており、様々な土地へは出向いていくわけですが、京都ほど素晴らしいところはないと思っています。

山田 仰ることは良くわかりますね。現代の日本はあらゆることで東京中心の体制がありますが、こと文化に関しては京都を抜きにして考えることはできません。

日本にいらっしゃる外国の要人は大概京都にいらっしゃいます。

西川 確か迎賓館がございますね。

山田 はい、日本を代表する建築である迎賓館での歓迎行事においても私どもは日本の文化を積極的に紹介しております。

西川 日本舞踊もですか？

山田 はい、こちらは江戸の日本舞踊ではなく京の舞が中心になりますが。

西川 何にもせよ大いに日本の素晴らしい伝統文化を広く宣伝をしてください。

山田 意外とお思いでしょうが、全国の知事のなかで外国のVIPに一番お会いしているのは私なんです。

西川 そうなんですか。

山田  誰でも東京都知事かと思うんですね。ところが東京では天皇陛下や総理大臣がいらっしゃいますから……。それから今申し上げたように京都には迎賓館がありますので。

西川 それで年中お忙しいのですね。知事はまだまだお若いのに、知事としてはすでに二期目を迎えていらっしゃいます。

山田 早いものですね、8年目を迎えたところです。

西川 日々ご多忙で休まる暇もないことに存じますが、振り返ってみて如何でいらっしゃいますか。

山田 仰るように今から考えてみればいろいろなことがありました。ただ、ひとつひとつ対処しなければならないことを必死に処理していたという印象ですね。

西川 しかし一般の方が思うのは次から次へと様々な問題を抱えていらっしゃってご苦労なことだなと思うのですね。

山田 そうかもしれませんね。5年ほど前の冬に丹波町の養鶏場で鳥インフルエンザが発生したことなどは、大きな思い出です。

西川 養鶏場で相当の数の鳥が死んでいるとの通報が発端だったと記憶しておりますが。

山田 1万羽くらい死んでいるということで、すぐに立入調査に入りました。

西川 そうだったのですか。あとで報道されたところによると、知事は対策本部を設置され精力的に解決に向けて徹底した防疫措置を施されていらっしゃいました。

- 山田 緊急事態発生時に如何なる場合でも共通しているのは時間との勝負である、ということなんです。1分でも1秒でも早く迅速に対応しなければいけないというプレッシャーがありました。
- 西川 なるほど、お立場上日常的にそのような事柄に立ち向かわれているわけですね。ところで知事はどちらの出身でいらっしゃいますか。
- 山田 生まれは兵庫なんです。同じ関西でもちょっと趣が違いますね。東京にも結構長く暮らしました。
- 西川 それは存じ上げませんでした。
- 山田 大学を出て役所に勤めることになって、今の総務省、当時の自治省です。ここは地方の勤務が多いのですね。最初に赴任したのが和歌山で、その後東京へ戻ったり高知へも行き、京都にご縁があつたのが平成11年だったでしょうか。
- 西川 素晴らしいご縁ではないですか。
- 山田 そうなんです。別に最初知事になろうなどという欲はなく、総務部長から副知事、そしてその流れの中で知事となり、こうして京都に住まわせていただいております。
- 西川 東京とはまるで違いますからね。
- 山田 東京へ出張で出かけますと以前何年も暮らした所なのに何ともいえない疲労を覚えます。文化と環境とが調和する京都に戻るとホッとしますね。
- 私にとってはここが終の棲家だと実感しています。
- 西川 羨ましい限りでございます。さてこれから先も何かとお忙しいことでしょう。事業も目白押しなのではないですか。
- 山田 はい、相応に控えております。文化関係でいえばさ来年国民文化祭があります。
- 西川 いよいよ京都ですね。私も今までに何回か参加させていただきました。
- 山田 毎年各都道府県の持ち回りですから、私が生きている間に次はまずありません。何としても成功させたいと思っています。
- 西川 文化の国体とも言われていますが、どこも今ひとつ盛り上がりに欠けるようです。
- 山田 そうですねえ。仰る通りまだまだの感がありますね。こちら辺りで全国民が注目するような国文祭にしたいと思っています。
- 西川 日本舞踊のジャンルでは是非お誘いください、京都のためにできる限りの協力をさせていただきます。
- 山田 ありがとうございます。是非その節はよろしくお願いします。
- 西川 今日はとても楽しく過ごさせていただきました。
- 山田 こちらこそありがとうございます。どうぞお気をつけてお帰りください。またいつでもお越しください。

山田 啓二 氏 プロフィール

昭和29年4月5日生まれ。

昭和52年東京大学法学部卒業、同年旧自治省（現総務省）入省。

和歌山県地方課長、内閣法制局参事官、国土庁土地情報課長、京都府総務部長・副知事などを経て、平成14年京都府知事に就任（現在2期目）

国立大学法人京都大学経営協議会委員、新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）副代表、全国知事会地方分権推進特別委員会委員長、地域・生活者起点で日本を洗濯（選択）する国民連合世話人・幹事／地方政府創造会議座長